

Q 12 完全学校週5日制に向けて学習指導要領が改訂され、教育内容が大きく変わったと聞きましたが、今回の改訂のねらいと具体的内容はどのようなものなのでしょうか？

A 今回の新しい学習指導要領は、平成14年度から実施される完全学校週5日制の下、「ゆとり」の中で「特色ある教育」を展開し、子どもたちに豊かな人間性や基礎・基本を身に付け、個性を生かし、自ら学び自ら考える力などの〔生きる力〕を育成することを基本的なねらいとして、次の四つの方針を重視して教育内容の具体的な改善を図りました。

豊かな人間性や社会性、国際社会に生きる日本人としての自覚を育成する

幼稚園や小学校低学年では、基本的な生活習慣や善悪の判断などの指導を徹底します。

道徳教育、特別活動等におけるボランティア活動や自然体験活動などの体験的な活動を充実します。

障害のある幼児児童生徒や高齢者との交流を推進します。

小学校社会科での人物・文化遺産中心の歴史学習の徹底と中学校社会科での歴史の大きな流れをつかむことを重視するなど、歴史学習を改善します。(Q54をご参照ください。)

中学校及び高等学校で外国語科を必修にするとともに、聞く、話す教育を重視します。(Q53をご参照ください。)

自ら学び、自ら考える力を育成する

各教科及び総合的な学習の時間において、体験的な学習や問題解決的な学習を充実します。(Q13をご参照ください。)

各教科等における知的好奇心や探究心、論理的な思考力や表現力の育成を重視します。

中学校技術・家庭科で情報に関する内容を必修化するとともに、高等学校で教科「情報」を必修にします。また、知的障害養護学校高等部で教科「情報」を選択教科として新設します。(Q57,Q58をご参照ください。)

ゆとりのある教育活動を展開する中で、基礎・基本の確実な定着を図り、個性を生かす教育を充実する

授業時数は、現行より週当たり2単位時間削減します。

小・中学校の教育内容を授業時数の縮減以上に厳選し、基礎的・基本的な内容に絞り、ゆとりの中でじっくり学習しその確実な定着を図るようにします。(Q14をご参照ください。)

中学校及び高等学校における選択学習の幅を一層拡大します。

各学校が創意工夫を生かし、特色ある教育、特色ある学校づくりを進める

「総合的な学習の時間」を創設し、各学校が創意工夫を生かした教育活動を展開できるようにします。(Q13をご参照ください。)

例えば、英語の授業を毎日25分ずつ行ったり、コンピュータの授業を特定の期間に集中して行うなど、各学校が創意工夫を生かして時間割を編成することができるようにします。

実施のスケジュールは・・・

新しい学習指導要領は、幼稚園は平成12年度から、小学校・学校は平成14年度から全面実施されます。高等学校は平成15年度から学年進行で実施されます。盲学校、聾学校及び養護学校では、それぞれの学校段階に準じて実施されます。また、新しい学習指導要領の趣旨をできるだけ早く生かすため、平成12年度から新学習指導要領が適用されるまでの間に移行措置が実施されます。

年 度	(新しいカリキュラムの実施スケジュール)				平成14年度から完全学校週5日制を実施			
	10(1998)	11(1999)	12(2000)	13(2001)	14(2002)	15(2003)	16(2004)	17(2005)
幼稚園 教育要領	告示 教育要領 12月	趣 旨 徹 底	実 施 4月					
小学校 学習指導要領	告示 学習指導要領 12月	趣 旨 徹 底 教 科 書 作 成			実 施 4月			
中学校 学習指導要領	告示 学習指導要領 12月	趣 旨 徹 底 教 科 書 作 成			実 施 4月			
高等学校 学習指導要領	告示 学習指導要領 3月	趣 旨 徹 底 教 科 書 作 成				実 施 4月	15年度新入生から段階的に実施	
盲学校、聾学校 及び養護学校 教育要領・ 学習指導要領	告示 教育要領・ 学習指導要領 3月		それぞれの部ごとに上記に準じて実施					